

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	精度管理学1		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時間	後期 木曜日	教室名	801 802
担 当 教 員	渡邊清司	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
信頼される臨床検査部門を構築していくための考え方や方法・技術を学ぶことを通じて、単に臨床検査を実施するのみならず、マネジメント能力を養うことで将来のビジョンを描ける臨床検査技師をめざす。						
《成績評価の方法と基準》						
中間テストおよび学期末テストによる						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新 臨床検査学講座 臨床検査総合管理学 第3版(教科書)						
《授業外における学習方法》						
授業終了時に示す課題や演習を実施しておくこと。消化不良と自覚した時は復習し、なおも理解できないときは積極的に質問してほしい。						
《履修に当たっての留意点》						
臨床検査の現場で遭遇する事柄を多く含むため、現時点では全体像を把握しにくいと思う。疑問点は遠慮なく質問してほしい。授業では毎回3つ程度に絞って重要事項を解説する。多くはこれからの社会生活にも応用できるので、自分の言葉で簡潔にまとめておくとよい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	検査検査の概念および特徴を理解できるようになる	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。	
		各コマにおける授業予定	臨床検査室の紹介			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	精度管理の基礎をなす統計学を理解できるようになる (1)	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。	
		各コマにおける授業予定	平均・分散・標準偏差・変動係数			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	精度管理の基礎をなす統計学を理解できるようになる (2)	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。	
		各コマにおける授業予定	ヒストグラムと正規分布、標準偏差と確率の関係、標準正規分布の理解と応用(基準化)			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	精度管理の基礎をなす統計学を理解できるようになる (3)	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。	
		各コマにおける授業予定	記述統計と推測統計、分散と不偏分散(自由度)、標本平均の性質(中心極限定理)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	精度管理の基礎をなす統計学を理解できるようになる (4)	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。	
		各コマにおける授業予定	t分布、母平均の区間推定、母平均の統計学的仮説検定			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	精度管理の基礎をなす統計学を理解できるようになる (5)	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。
		各コマにおける授業予定	カイ2乗分布とその応用、独立性の検定(ピアソンのカイ2乗検定)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	精度管理の基礎をなす統計学を理解できるようになる (6)	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。
		各コマにおける授業予定	F 分布と分散分析		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	精度管理の基礎をなす統計学を理解できるようになる (7)	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。
		各コマにおける授業予定	相関と回帰分析、グラフス・スミルノフの棄却検定		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	精度管理の基礎をなす統計学を理解できるようになる (8)	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。
		各コマにおける授業予定	エクセルを活用した統計処理		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	中間試験	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。
		各コマにおける授業予定	これまでの復習、演習や重要事項の解説		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	正確さと精密さの違いが理解できるようになる	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。
		各コマにおける授業予定	真値と誤差(旧来の考え方)、標準誤差 不確かさとトレーサビリティ連鎖、臨床検査の標準化		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	精度管理について理解できるようになる	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。
		各コマにおける授業予定	種々の精度管理手法とその特徴、内部精度管理と外部精度評価		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床検査における分析水準の評価と結果解釈について理解できるようになる	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。
		各コマにおける授業予定	許容誤差限界と生理的変動幅、基準範囲と臨床判断値・パニック値、デルタチェック		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床検査の試薬や装置の妥当性確認について理解できるようになる (1)	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。
		各コマにおける授業予定	妥当性確認の方法(1)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床検査の試薬や装置の妥当性確認について理解できるようになる (2)	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。
		各コマにおける授業予定	妥当性確認の方法(2)、水質・温度・質量・容量の管理		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	精度管理学1		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時間	後期 木曜日	教室名	801 802
担当教員	渡邊清司	実務経験とその関連資格				
《授業科目における学習内容》						
信頼される臨床検査部門を構築していくための考え方や方法・技術を学ぶことを通じて、単に臨床検査を実施するのみならず、マネジメント能力を養うことで将来のビジョンを描ける臨床検査技師をめざす。						
《成績評価の方法と基準》						
中間テストおよび学期末テストによる						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新 臨床検査学講座 臨床検査総合管理学 第3版 (教科書)						
《授業外における学習方法》						
授業終了時に示す課題や演習を実施しておくこと。消化不良と自覚した時は復習し、なおも理解できないときは積極的に質問してほしい。						
《履修に当たっての留意点》						
臨床検査の現場で遭遇する事柄を多く含むため、現時点では全体像を把握しにくいと思う。疑問点は遠慮なく質問してほしい。授業では毎回3つ程度に絞って重要事項を解説する。多くはこれからの社会生活にも応用できるので、自分の言葉で簡潔にまとめておくとよい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	授業を通じての到達目標	臨床検査における医療安全を理解できるようになる(1)		教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。	
	各コマにおける授業予定	医療事故と医療過誤、ヒューマンエラーの要因と対策				
第17回	授業を通じての到達目標	臨床検査における医療安全を理解できるようになる(2)		教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。	
	各コマにおける授業予定	検査部門で起きたインシデント事例の検討				
第18回	授業を通じての到達目標	臨床検査のプロセス管理について理解できるようになる		教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。	
	各コマにおける授業予定	法的要求事項と精度保証、標準作業手順書と各種記録、プロセスアプローチと国際規格(ISO 15189)、品質保証とPDCAサイクル				
第19回	授業を通じての到達目標	臨床検査の特性を理解できるようになる		教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。	
	各コマにおける授業予定	感度・特異度・有病率と臨床検査の有用性				
第20回	授業を通じての到達目標	後半講義の復習とまとめ		教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。	
	各コマにおける授業予定	重要事項の説明等、最終講義、試験				